

【令和2年度】東串良町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証シート

| No. | 単独・補助 | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象(交付対象者、対象施設) | 事業 始期 | 事業 終期 | A | | | | | 事業経費内訳 | 効果・検証 ①成果(具体的に数値等を記載) ②検証(評価) | 課題等 ①課題 ②今後の方向性 | |
|-----|-------|-------------------------------------|-----|--|----------|----------|----------------------|--------------|----------------------|------------|-------------|---------|---|--|---|
| | | | | | | | 総事業費 (実績額) (円) | B | C | D | E | | | | F |
| | | | | | | | | 国庫補助額 (円) | コロナ交付 金充当額 (円) | 起債額 (円) | 一般財源 (円) | | | | その他 (円) |
| 合計 | | | | | | | 269,025,693 | 2,977,000 | 263,209,000 | 0 | 2,576,693 | 263,000 | 269025693 | (チェック) A=B+C+D+E+F | |
| 1 | 単 | 東串良町えがお支援給付金 | 企画課 | ①国の「特別定額給付金」に加え、町独自の支援金を給付することで、家計を支援すると同時に地域経済の浮揚を図る ②10,000円×対象者6,529人 ③全町民(住民基本台帳登録者) | R2.5.1 | R2.8.14 | 65,290,000 | | 65,290,000 | | | | 給付金 10,000円×6,529人=65,290,000円 | ①基準日に住民基本台帳登録者6,529人に定額10,000円を給付。 ②家計を支援したことで、地域経済の浮揚に繋がった。 | ①申請方法の簡略化 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による町民への更なる支援。 |
| 2 | 単 | コロナに負けるな!!あまびえルビノン商品券発行事業 | 企画課 | ①個人の消費を刺激し、景気回復や顧客拡大を進めるとともに、町内の中小小売店等の雇用の維持と事業継続の支援を行うため、町民に対してプレミアム商品券の発行を行う。 ②商品券割増分10,000,000円+事務費1,050,631円 ③東串良町商工会・東串良町 | R2.6.10 | R2.11.17 | 11,050,631 | | 11,050,000 | | 631 | | 商品券割増分 10,000,000円 町:切手・印刷製本費 190,631円 商工会:商品券印刷代・臨時雇用者人件費860,000円 | ①2,000冊発行販売し、完売。 ②消費喚起し、町内の中小小売店の事業継続及び雇用の維持等に寄与した。 | ①小規模小売店舗の参加拡大 ②町内の中小小売業の消費者に対する消費喚起に向けて取り組み。 |
| 3 | 単 | 東串良町学業支援給付金 | 管理課 | ①外出自粛要請等に併い痛省を控えるなど、大学生等が被った心身損害に対し、感染症の感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に支援を行う。 ②50,000円×対象者116人 通信費 70,229円 ③本町中学校を卒業した大学生及び専門学校生等 | R2.5.22 | R2.9.18 | 5,869,229 | | 5,869,000 | | 229 | | 給付金 50,000円×116人=5,800,000円 切手代 84円×280人=23,520円 料金受取人払郵便 45,709円 | ①本町立中学校を卒業し、在学中の大学生及び専門学校生等に定額50,000円を給付。 ②外出自粛の影響で、アルバイトの制限や雇止めにより、生活費に困窮している学生を支援できた。 | ①事業対象者の把握 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による町出身大学生及び専門学校生等への更なる支援。 |
| 4 | 単 | 東串良町新型コロナウイルス感染症対策休業等協力金 | 企画課 | ①鹿児島県が支給する新型コロナウイルス感染症対策休業等協力金に町が上乗せすることにより、協力事業者の事業継続と雇用の維持を図る。 ②100,000円×6件 ③町内協力事業者 | R2.5.22 | R2.7.20 | 600,000 | | 600,000 | | | | 協力金 100,000円×6事業者=600,000円 | ①休業要請に協力した町内飲食店に協力金を支給 ②事業継続及び雇用維持を図れた。 | ①協力金支給対象者への呼びかけ ②コロナ禍における、町内飲食業を始めとし、更なる支援の検討。 |
| 5 | 単 | 東串良町避難所用資機材(新型コロナウイルス対策パーティション)購入事業 | 総務課 | ①避難者のプライバシーの保護とプライベート空間の確保。並びに新型コロナウイルス感染症の飛沫感染による感染拡大防止。 ②備品購入費 2,106,500円 ③町内指定避難所 | R2.6.25 | R2.11.25 | 2,106,500 | | 2,106,000 | | 500 | | ファミリールーム 22,000円×84張=1,848,000円 プライベートルーム 51,700円×5張=258,500円 | ①町内の指定避難所にファミリールーム及びプライベートルームのパーティション89張を購入。 ②指定避難所での飛沫感染対策として有効であった。 | ①パーティション設置により、避難所の収容人員が大幅に縮小された。 ②適当な収容人員避難スペースの確保のため指定避難所及び運営人員の確保 |
| 6 | 単 | 第2次東串良町えがお支援給付金 | 企画課 | ①新型コロナウイルス感染症拡大により、生活に多大な影響を受けた町民に対し、新しい生活様式に伴う負担の軽減と町の活力を取り戻す。 ②給付金 13,080,000円 事務費 2,202,781円 ③全町民(住民基本台帳登録者) | R2.9.1 | R2.12.14 | 132,282,781 | | 132,282,000 | | 781 | | 給付金20,000円×6,504人=130,080,000円 消耗品費 402,716円 通信運搬費 638,848円 振込手数料 579,652円 システム構築委託料 308,000円 プリンターリース料 273,565円 | ①基準日に住民基本台帳登録者6,504人に定額10,000円を給付。 ②町民の新しい生活様式に伴う負担軽減が図れた。 | ①住民基本台帳に登録されている外国人実習生の実態把握 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による町民への更なる支援。 |
| 7 | 単 | 東串良町公共交通事業者応援給付金 | 企画課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した町内タクシー事業者に対して応援給付金を給付することで、事業の継続と経営の安定を支援。 ②応援給付金 1,600,000円 ③町内タクシー事業者 | R2.9.7 | R2.10.7 | 1,600,000 | | 1,600,000 | | | | 給付金 1,600,000円×1事業者=1,600,000円 | ①町内で唯一のタクシー事業者に応援給付金を給付。 ②前年比40%以上の売上げが減少した事業者に給付金を支給したことにより、事業の継続と経営の安定が図れた。 | ①事業者の経営状態の把握。 ②今後の新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況によりさらに、経営が逼迫する可能性が下がることから、状況を注視しながら、支援策を検討。 |
| 8 | 単 | 東串良町高等学校学業支援給付金 | 管理課 | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休業等を併い、高校生等が被った心身損害に対し、感染症の拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に支援を行う。 ②給付金 4,830,000円 ③高等学校等に在籍している者。若しくは、その保護者。 | R2.9.1 | R2.11.13 | 4,830,000 | | 4,830,000 | | | | 給付金 30,000円×161人=4,830,000円 | ①基準日に高等学校に在籍している者又は、その保護者に定額30,000円を給付。 ②感染症防止対策に係る費用の一部を給付することで、各家庭に与える負担の軽減が図れた。 | ①事業対象者の把握 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による在校生への更なる就学支援の検討。 |

【令和2年度】東串良町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証シート

| No. | 単独・補助 | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設） | 事業 始期 | 事業 終期 | A | | | | | 事業経費内訳 | 効果・検証 ①成果（具体的に数値等を記載） ②検証（評価） | 課題等 ①課題 ②今後の方向性 | | |
|-----|-------|---------------------|-----|--|----------|----------|----------------------|-----------|------------|---|---------|---------|--|---|---|---|
| | | | | | | | 総事業費 （実績額） （円） | B | C | D | E | | | | F | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 国庫補助額 （円） |
| 9 | 単 | 公立学校情報機器（タブレット）購入事業 | 管理課 | ①国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台のPC端末の実現。 ②タブレット端末購入代 24,693,630円（国の補助額を除く） ③町内小・中学校3校 | R2.10.1 | R3.3.29 | 24,693,630 | | 24,693,000 | | | 630 | | 児童生徒未整備分 64990.2円×195台=12,673,089円 児童生徒上乗せ分 19990.2円×390台=7,796,178円 教諭分未整備分 64990.2円×65台=4,224,363円 | ①1人1台のPC端末の貸与を実現。 ②PC端末を活用したオンライン授業等の導入により新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減が図れた。 | ①PC端末を活用した構築のための人材育成や家庭での通信環境の整備。 ②Wi-Fi環境のない家庭に対する支援策を検討する。 |
| 10 | 補 | 公立学校情報機器整備費補助金 | 管理課 | ①国が進めるGIGAスクール構想実現のため、学校の人材不足を補う。 ②ICT技術者配置業務委託費 1,577,400円 ③町内小・中学校3校 | R2.9.1 | R3.3.31 | 1,577,400 | 750,000 | 602,000 | | 225,400 | | 業務委託料 （うち、750,000円は国の定額補助） 1,577,000円 | ①ICT環境の整備や設計、使用マニュアルの作成などを行うICT技術者の学校配置を支援。 ②学校の人材不足を補うため、ICT技術者を学校へ配置したことにより、ICT環境の構築が図れた。 | ①ICTの継続的な活用。 ②学校でICTの継続的な活用を促進するため、な学校人材のスキルアップの図るべく支援策を検討する。 | |
| 11 | 補 | 子ども・子育て支援交付金 | 福祉課 | ①小学校の臨時休校等により放課後児童クラブを開所するための支援。 ②放課後児童クラブ開所業務委託料 1,120,000円 ③町内の放課後児童クラブ | R2.9.1 | R3.3.31 | 1,120,000 | 263,000 | 263,000 | | 331,000 | 263,000 | 業務委託料 国（臨時交付金含む） 1,120,000円 県 526,000円 町 263,000円 | ①小学校の臨時休校に伴い、開所された放課後児童クラブへ開所に係る費用を支援。 ②放課後児童クラブの開所に係る費用を支援することで、家庭の負担軽減が図れた。 | ①学校の臨時休校に伴う放火児童クラブの開所要請及び連絡調整 ②学童児童クラブでの新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減を図るため、支援策を検討する。 | |
| 12 | 補 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 管理課 | ①学校再開にあたり、集団感染のリスクを避けるため、学校設置者が実施する保健衛生用品の整備に必要な経費を支援することにより、児童生徒が安心して学べる体制の整備を促進する。 ②保健衛生用品購入代 209,822円 ③町内小・中学校3校 | R2.7.16 | R2.10.19 | 209,822 | 99,000 | 100,000 | | 10,822 | | 保健衛生用品購入代 レモン石鹸 539円×40袋=21,560円 サラヤンジェル 657円×7個=4,599円 ウイルウオッシュュアル 1,078円×3個=3,234円 非接触型体温計8,000円×17台=136,000円 マスク50枚入り15箱 17,765円 アルコールジェルハンズガード 2,508円×3本=7,524円 フェースシールド（大） 330円×40枚=13,200円 口元プラスチックマスク 198円×30枚=5,940円 | ①保健衛生用品を購入し、町内小・中学校に配布した。 ②配布したことにより、学校内での感染防止に効果があった。 | ①今後の感染状況により、保健衛生用品の調達に困難になるのではないか懸念される。 ②今後も、保健衛生用品については、必要数確保に努める。 | |
| 13 | 補 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 管理課 | ①感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、学校設置者が実施する取り組みに係る経費を支援し、学校における感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びの保障をする体制の整備を促進。 ②感染対策用品の購入及び修繕 3,167,492円 ③町内小・中学校3校 | R2.8.3 | R3.3.31 | 3,167,492 | 1,500,000 | 1,500,000 | | 167,492 | | 保健衛生用品購入代（消耗品 マスク等） 937,156円 保健衛生用品購入代（備品 空気清浄機等） 1,564,176円 感染対策用品修繕代 666,160円 | ①保健衛生用品（消耗品・備品）を購入し町内小・中学校に配布した。 ②学校再開に伴う、感染症対策及び学習保障等の支援を行ったことにより、十分な教育活動の継続の後押しができた。 | ①今後の感染拡大状況により、備蓄している在庫で対応できるか、また、不足が生じた場合に迅速に調達確保ができるかが課題である。 ②それぞれの学校の在庫を定期的に確認し、不足が生じないような支援を行う。 | |
| 14 | 補 | 学校臨時休業対策費補助金 | 管理課 | ①学校臨時休業による学校給食休止に伴い、学校給食調理業者等に対し支援。 ②給付金 487,208円 ③購入業者4社 | R2.5.29 | R2.8.19 | 487,208 | 365,000 | 122,000 | | 208 | | 給付金 パン一次加工分 112,200円×90%=100,980円 パン二次加工及びご飯加工分 187,177円×90%=168,459円 給食用牛乳 229,870円×80%=183,896円 キャンセル食材分 33,873円×100%=33,873円 | ①学校の臨時休業に伴い、キャンセル及び発注止めを行った業者に対して、支援金を給付。 ②支援金を給付したことにより、事業の継続と安定が図られた。 | ①今後の感染拡大にの状況により、再度の学校休業の措置をとった場合の支援や方策 ②現状及び効果等を検証しつつ、再度の臨時休業に対処すべく、支援の方策を検討。 | |
| 15 | 単 | 東串良町非接触式検知器購入事業 | 総務課 | ①公の施設での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自動消毒噴霧器を備えた非接触式検知器を導入し、感染者の早期発見と感染予防対策を講じる。 ②備品購入代 770,000円 ③町内公共施設10施設 | R3.2.22 | R3.3.31 | 671,000 | | 350,000 | | 321,000 | | 非接触式検知器購入代（備品購入代） 77,000円×10施設=770,000円 | ①町内公共施設10施設に非接触式検知器を設置。 ②設置により、新型コロナウイルス感染症の疑いのある者の早期発見と消毒液自動噴霧器により、感染予防対策の徹底が図られた。 | ①設置はしたものの、今後の使用頻度によって、維持管理に多額の費用が発生することが考えられる。 ②正確な測定を可能とするために、定期的な保守点検を実施。 | |

【令和2年度】東串良町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証シート

| No. | 単独・補助 | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内訳 ③事業の対象（交付対象者、対象施設） | 事業 始期 | 事業 終期 | A | | | | | 事業経費内訳 | 効果・検証 ①成果（具体的に数値等を記載） ②検証（評価） | 課題等 ①課題 ②今後の方向性 | |
|-----|-------|------------------------|-------|--|----------|----------|----------------------|--------------|----------------------|------------|-------------|--------|--|--|--|
| | | | | | | | 総事業費 （実績額） （円） | B | C | D | E | | | | F |
| | | | | | | | | 国庫補助額 （円） | コロナ交付 金充当額 （円） | 起債額 （円） | 一般財源 （円） | | | | その他 （円） |
| 16 | 単 | 東串良町医療福祉等従事者等支援商品券支給事業 | 福祉課 | ①新型コロナウイルス感染症の感染の危険と隣合わせで相当程度心身に負担のかかる中、強い使命感を持って、業務に従事している町内の医療機関や福祉事業者等の職員に対し、商品券を支給することにより、自身の健康管理と感染対策に資する。 ②商品券購入代 10,420,000円 ③町内の歯科医院、医療機関、調剤薬局、介護保険サービス事業所、障がい福祉サービス等事業所、児童福祉施設 17施設 | R3.2.8 | R3.3.10 | 10,520,000 | | 9,002,000 | | 1,518,000 | | 町内小売店商品券購入代 20,000円×526人=10,520,000円 | ①町内17施設職員526人に20,000円分の商品券を支給。 ②商品券支給により、医療従事者及び福祉事業者等の職員の経済的負担緩和と心身ストレスの解消が図られた。 | ①感染症拡大による影響の終息が見込めず長期化した場合に差支援が不可欠となる。 ②感染拡大の影響を施設事業者と情報共有を図りながら、さらなる支援を検討。 |
| 17 | 単 | 東串良町メロン農家応援給付金 | 農林水産課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した町内の施設メロン農家に対して、応援給付金を給付することで、当該農家の経営の継続を支援し、経営の安定を図る。 ②応援給付金 2,950,000円 ③施設メロン栽培農家 | R3.2.10 | R3.3.31 | 2,950,000 | | 2,950,000 | | | | 応援給付金（1アール当たり）10,000円 10,000円×295アール=2,950,000円 | ①町内の施設メロン栽培農家に1アール当たり10,000円を給付。 ②応援給付金を支給することで、経営の継続と経営安定が図れた。 | ①施設メロン栽培の農家数の把握と栽培面積の確定。 ②感染拡大状況の影響により、市場価格が低水準で推移した場合に、更なる支援の検討。 |